

好嫌気性
複合微生物資材

コフナ

土壌改良材として微生物資材を活かすためには、その特徴を踏まえた使用法がポイントとなります。

コフナはフランスパスツール研究所で開発された様々な環境下で働く微生物を含みます。これら様々な微生物が活躍し、土壌中の有機物を腐植化します。その使用方法を一部紹介します。

緑肥のすき込み時に

「堆肥等有機物の投入が難しい」、「深層部まで有機物を投入したい」等の課題がある際に、緑肥を栽培される場合があります。コフナの特徴である好気性と嫌気性の各々の微生物が緑肥を土中の表層部分、深層部分それぞれで分解することができ、早期に腐植化します。

コフナ

雪の下でもコフナ

コフナには低温で働く微生物も含まれており、冬の間に閉ざされる圃場へ雪が降る前にコフナを散布すると、雪の下でじっくり土つ

くりが行えます。雪解けも早くなるとの報告もあります。

コフナ・ソーラー法

コフナを使った太陽熱土壌処理方法。コフナと堆肥などの有機物を投入し、十分な水分を与えフィルムで被覆し1ヵ月間そのまましておく。コフナに含まれる高温で活発に働く微生物が土中の温度を上げるとともに、病害の住処である前作の残根・残さを早期に分解・腐植化します。土中に微生物が多種多様に繁殖します。物理性の向上も期待できます。近年では還元消毒でも併用されています。

お問い合わせ先

コフナ農法普及協議会
事務局 二チモウ株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20-1
TEL 03-3458-4369
FAX 03-3458-4329
info@cofuna.jp
<http://www.cofuna.jp/>

